

ごみ減量の取組み



ホテル編

事業系ごみの現状1

減少していた廃棄物 **⚠️ここ数年は増加傾向に**

大都市（人口100万人以上）事業系ごみ搬入量等の推移

	H30		R1		R2		R3		R4		
	(H30を0とする)	搬入量 (t)	対前年比 (%)	搬入量 (t)	対前年比 (%)	搬入量 (t)	対前年比 (%)	搬入量 (t)	対前年比 (%)	搬入量 (t)	対H30年比 (%)
札幌市	0.00	197,558	▲ 2.40	192,821	▲ 13.68	166,443	▲ 0.16	166,174	7.21	178,148	▲ 9.82
仙台市	0.00	137,158	▲ 0.55	136,399	▲ 10.84	121,608	1.22	123,092	2.31	125,938	▲ 8.18
さいたま市	0.00	109,801	2.81	112,885	▲ 10.74	100,765	▲ 0.60	100,164	0.09	100,250	▲ 8.70
横浜市	0.00	301,053	2.66	309,066	▲ 12.50	270,433	2.00	275,839	2.00	281,361	▲ 6.54
川崎市	0.00	107,938	▲ 1.98	105,805	▲ 10.23	94,980	1.64	96,539	▲ 2.47	94,159	▲ 12.77
名古屋市	0.00	251,514	0.30	252,271	▲ 14.75	215,053	2.56	220,552	3.92	229,191	▲ 8.88
京都市	0.00	212,011	0.90	213,923	▲ 20.86	169,307	0.20	169,641	4.40	177,102	▲ 16.47
大阪市	0.00	572,954	1.10	579,236	▲ 13.84	499,045	1.72	507,623	5.94	537,801	▲ 6.14
神戸市	0.00	199,940	▲ 0.95	198,041	▲ 10.73	176,788	▲ 0.11	176,600	2.06	180,232	▲ 9.86
広島市	0.00	161,338	▲ 0.81	160,039	▲ 15.09	135,882	0.57	136,659	0.26	137,021	▲ 15.07
福岡市	0.00	232,710	▲ 5.26	220,471	▲ 19.73	176,963	▲ 4.27	169,406	23.93	209,938	▲ 9.79
東京23区	0.00	988,118	▲ 0.40	984,155	▲ 24.98	738,354	3.77	766,169	8.12	828,392	▲ 16.16

※環境省「一般廃棄物処理実績調査」より

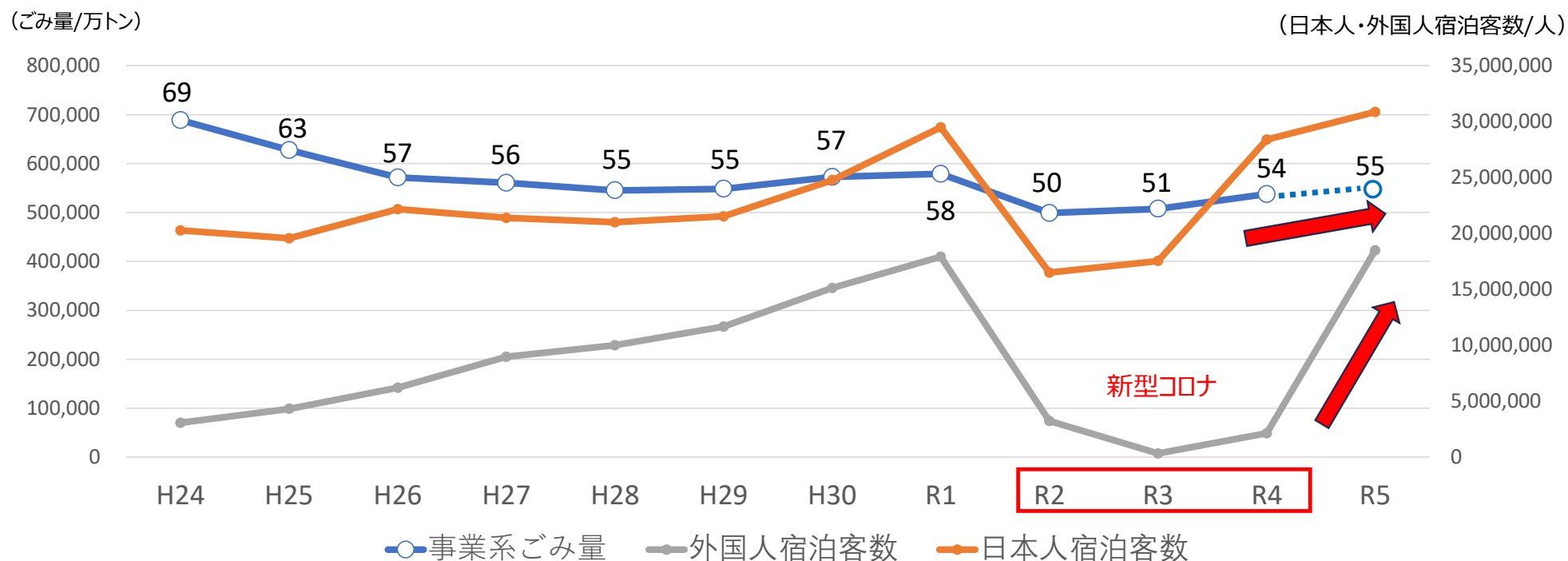
事業系ごみの現状 2

インバウンド需要による宿泊客の増加 ➡ 廃棄物の増加



宿泊者数の比較とごみ量の推移

大阪市の事業系ごみ量、日本人・外国人宿泊客数の推移



【事例紹介】ホテルでの取り組み



「食品ロスを減らしたくても、ビュッフェでは必ず廃棄が出てしまう...」



「プラスチック製のアメニティ。
産業廃棄物の削減はできないか？」



これらホテルが抱える問題に対し、廃棄物の削減に取り組まれている事例を紹介します。

【事例 1】食品ロスを減らす取組み

消費者と飲食店をマッチングするスマホアプリを利用して、食品ロスに取り組むホテルが大阪市内にも複数あります。

ここでは、その一例として2022年6月から
スマホアプリ「TABETE」を活用し、
食品ロス減量の取り組みを進めている
「ベッセルイン難波／心斎橋」を紹介します。



【事業者のメリット】

①廃棄物排出量の削減

朝食ビュッフェの残り食品を活用し、
2023年度（令和5年度）販売したお弁当

難 波：約600gのお弁当 820個

心斎橋：約800gのお弁当 800個

年間約1100kgの排出削減につながっています。



画像出典：ベッセルインホテル

【事業者のメリット】

②SDGsの取り組みとして、 削減CO2量が可視化できる

TABETEを通して削減した食品ロス量、
削減ロス量を換算し、
累計CO2削減量として可視化することで
従業員の意識向上にもつながります。

IR資料や、SDGsの取り組みとして外部発信
に活用できるほか、アプリには、多種多様な
飲食店が登録していますので、幅広い利用者
の目に留まり、ホテルのPRにつながります。



画像出典：ベッセルインホテル

【消費者のメリット】



①安全性が保証された食品を、 お手頃価格で購入できる

ベッセルインホテルでは、販売にあたり保健所の許可を取得したうえで、ビュッフェ会場には並ぶことのなかった食品をお弁当として提供しています。

スマホアプリを通して提供される食品は、
**「まだおいしく安全に食べられるのに売り切るのが
難しい食事」**が出品されています。



②環境問題に興味、関心が湧く

ベッセルインホテルのお弁当1個で、CO2排出量約1,400 g ～1,800 g の削減に貢献していることがアプリで通知されるため、身の回りの環境問題への意識が高まります。



【事例 2】 廃プラスチックを減らす取り組み

東横 I N N が全国で2021年10月から開始した
廃棄物減量の取り組みについて、紹介します。

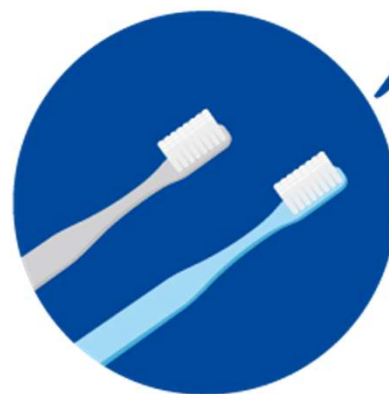
宿泊客が使用した歯ブラシ、
コームを回収し、ホテルで
使用する備品等に再生。
廃プラスチックの排出削減に成功



【取組み方法】

①各店舗での回収

各部屋に設置された分別容器により、
使用済みの歯ブラシ、コームを回収。
一定期間、溜め置きます。



②各店舗から、リサイクル工場へ送付

東横INN全体で1年間に約50トン、
大阪市内のホテルからは約7トン回収されています。

Point
外国人宿泊客にもわかりやすい表示！
宿泊客が迷わず分別でき、
従業員の負担軽減につながります。

画像出典：東横INN

③リサイクル工場で歯ブラシケースやホテル備品として再生（リボーン）



回収



粉碎



ペレット化



着色



ペレット完成



歯ブラシケース



朝食トレイ



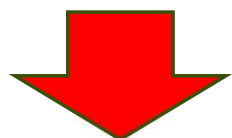
アクセサリケース

1本あたり歯ブラシは7グラム、コームは6グラムとわずかな数グラムのプラスチック製品ですが、このようなホテル備品として再生され使用されています。

【廃棄物削減に向けて】

食品ロスの取組み

廃棄物管理責任者

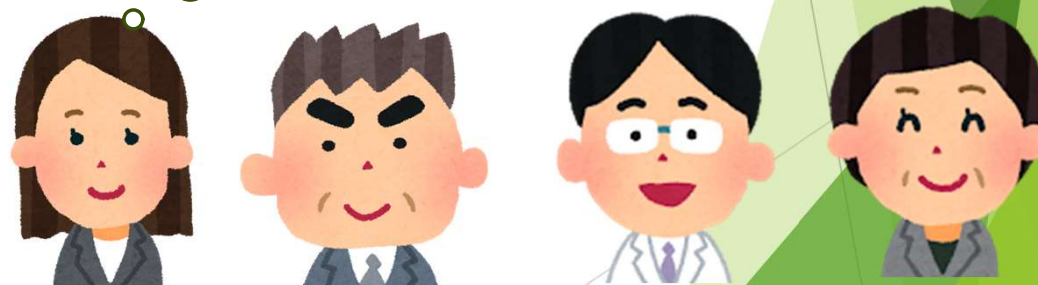


紹介

テナント事業者



一人ひとりの意識の向上



廃棄物の減量